

平成22年度第1回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録

【日時】平成22年7月2日午後3時から午後5時

【場所】多摩市役所第二庁舎会議室

【出席】12名

1 会長挨拶・委嘱状交付

2 委員自己紹介

3 職員自己紹介

4 議題

(1) 平成22年度会議日程

事務局から、本委員会は昨年度6回開催したが、今年度は諮問事項が無いと予想されるので、資料3に示した通り、決算監査のほか委員会は4回の開催を予定しているとの説明があった。

特に議論なく、原案どおり決定した。

(2) 「多摩市の学校給食（案）」について

学校給食センター長

「多摩市の学校給食（案）」は、5月31日の教育委員会で決定し、現在パブリックコメント中である。（内容説明）

この場で、又は後日でもいいのでご意見いただきたい。

会長 現在パブリックコメント中で、今日は運営委員会が意見を述べる。最終的には教育委員会で決定するのか？

学校給食センター長

パブリックコメント後、意見を事務局で取りまとめて必要な修正をし、最終的には教育委員会で議決する。

〇〇委員 6月20日からパブリックコメントを実施していて、現在までに意見は何件くらい寄せられているか。

事務局 現在までに1件寄せられている。

〇〇委員 給食行事の中に「野外給食」があるが、これはどのような行事なのか？

事務局 子どもたちが野外で食べられるような献立を考えて提供するものである。実施日は、可能な限り学校の要望を反映して決定する。家庭から弁当箱を持参してもらい、それに給食を盛り付けて、校庭の花壇など

好きな場所で食べるもの。たいへん好評をいただいているが、中学校ではなかなか実施できない状況である。給食センターからも食器を提供するので、弁当箱とどちらを使ってもいい。

会長 中学校でもそのような取り組みが可能なのか？

事務局 中学校でも可能。

会長 「多摩市の学校給食」にも項目だけでなく内容を端的に書くと、市民もわかりやすいと思う。

学校給食センター長

ご意見を承り、わかりやすく加筆させていただく。

〇〇委員 子どもたちの反応は？

事務局 2つの理由があって、人気がある。1つめは、持っていくのは子どもたちが好きなものが多い。鶏のから揚げなどは人気だ。もう1つは、教室の外で食べられるということが、非常に人気がある。

〇〇委員 野外給食のときは、手でつかんで食べられるものになるのか？日ごろの献立とは違うものになるのか？

事務局 スープやシチューなどは、難しい。汁気のないようなサラダ、唐揚げ、焼き物等中心のメニューを作成している。

〇〇委員 ご飯物は少ないのか？

事務局 パンよりはおにぎりが多い。

〇〇委員 おにぎりは、食中毒が心配だが、どのような配慮をしているか？

事務局 暑い時期を避け、実施時期を10月中旬以降に設定するなど注意している。

学校給食センター長

おにぎりは個包装のものを学校直送で納品させている。

会長 行政や学校にとっては「野外給食」という記述だけで分かるのだろうが、一般向けには、もっとわかりやすく書き込む必要がある。

〇〇委員 我々が小学生だった時代から比べると、今の給食は天国のようだ。その中では、昭和40年代の給食を提供しても、スキムミルクとかコッペパンとかも、行事としてはいいのではないか。

学校給食センター長

趣旨としてはよくわかる。しかし、栄養摂取基準は満たさないといけない。また、孤食傾向などを踏まえて学校給食の期待は高まっている。そのような中では検討事項とさせていただきたい。

〇〇委員 子供を通して学校給食から「こんなものがあるよ」と教えられたことがあった。すいとんなどいいかもしれない。また、アレルギーは大変

な状況なのか？

事務局

正月に七草すいとんを出している。また、7月に熊本の「だご汁」を出したが、これもすいとん形式のもの。すいとんと言っても、今はうまみは必要、現代風にアレンジしている。

学校給食センター長

アレルギーは、年々増えている。平成22年2月現在、小学校78人、中学校16人、合計84人にカルテを送っている。また、牛乳の代用食としての豆乳は、平成19年の途中から始めた。平成22年2月現在、小学校8人、中学校3人、合計11人が飲んでいる。ただし、成長に従って抵抗力が付くということもあるようだ。

〇〇委員

p. 7「食育リーダー」とは、どんな活動をしている方なのか。

学校給食センター長

各学校の教諭の中から任命されるものである。

〇〇委員

今食育が重要視されている。学校ごとに計画を定めているが、食育は給食だけではない。給食主任が食育リーダーを兼務する場合もあるが、別に置く場合もあり、学校ごとに違う。

〇〇委員

私は、勤務する学校で給食主任かつ食育リーダーを務めている。今年度食育リーダーの研修会が2回あり、1回目は実践例を発表し合った。2回目は野菜ソムリエによる講演を聞いた。今後学校ごとに栄養教諭の話聞くことになっている。当校でも今年度3回栄養教諭に来ていただき、食育リーダーと担任と栄養教諭がPTを作り食育について研究している。

会長

中学校ではどうか？

〇〇委員

中学校では4年前に諏訪中が食育の奨励校だった。3年生は修学旅行で農業体験、1・2年生は農作物を栽培するなど農業体験している。

会長

私の学校でも給食主任が食育リーダーになっている。いろいろな教科の中で食育に関連する教科を食育リーダーがまとめて連携させてくれることを期待している。

〇〇委員

高校で勉強会で親が食育を受けた。食と精神が関係するということが分かった。親にもぜひ食育に関心を持ってもらいたい。

会長

家庭に入り込むのは難しいところがあるが、家庭も大切だというのは、その通りだと思う。

学校給食センター長

1章は食育のことだが、市では食育推進計画を定めている。専門的でわかりにくい用語は、加筆していきたい。

6月議会でも食育のことが話題になった。新市長も食育には関心を持ち進めていきたいと考えている。

〇〇委員 p.12で米飯を週4回程度としている。週5回を目標としている市もあるが、多摩市では、多様な食も大事なので、米を中心にしつつも週4回程度と考えているが、食育でESDなどが絡むと大きな争点になる所なので、ぜひご意見をいただきたい。

〇〇委員 私は、学校給食に米飯が出ていることに、手間がかかっていると驚いている。日本全体で稲作が減り、小麦の輸入が増えている。給食のパンは、イギリス系の甘みのあるもの中心と思うが、私はパンはおかずを載せて食べるものと考えており、パンを選ぶときは注意している。

学校給食センター長

物資取扱要項中p.8で小麦については1CWというカナダ産の硬質小麦を中心に使っている。輸入小麦については、農薬など検査済みのものが流通しており、それを使っている。米飯については、国の目標で昨年度まで3回だったのが今年4回となっている。だからというわけではないが、麺やパンも残しつつ、米飯を増やしてもいいのではないかと考え、このように書いた。

〇〇委員 小学校では、子どもはご飯よりパンが好き。ご飯となると和食になる。和食はヘルシーなので子どもたちに食べさせたいが、週4回続くと、視覚的には茶色ばかりで、残渣も多い。だからパンがいいというわけではないが、そういう実態はある。

年度最初の給食は、1年生の食べやすさを考えてカレーライスから入る市もあるが、多摩市に来たらそうではなかった。子どもたちの食べ方と献立との間に少し食い違いがあると感じることがある。

〇〇委員 うちの子は麺が好き。米も大事だが、楽しみも大事。パンもあり、麺もありということで、バランス良くするのがいいと思う。学校給食はみんなで楽しみながら、というのも食育の一つだと思うので、私は米飯は週3回程度として、残りは麺やパンというのがいいのではないか。今の時代は物が無いわけではなく、子どもは平気で残すので、最後まで食べられるメニューも大事だと思う。

〇〇委員 米飯を週4回とするこだわりは、日本だからか？それとも米の需要のためか？趣旨・目的を教えてください。

会長 現在の週3回から増やすならば週5回もあり得るわけだが、あえて週4回とした理由は？

学校給食センター長

国の通知もあるし、日本の食料自給率の問題もある。米飯でも食べや

すい献立は栄養士の努力で可能だと思うし、よく噛むという点でもいいし、バラエティも作れるだろうということで、現在の週3、1回からさらに増やしてもいいと考えた。しかし、週5回というのは、逆にバランスが崩れ、おかしい献立の組み合わせが増えてしまうのではないかと考えた。全部米飯となると、今までパンや麺の時に出せていた給食が出せなくなることを危惧した。多様性が制限されないようにパンや麺も出すけれども、米飯については増やしたいと考えた。

〇〇委員 私も学校給食を30数年間食べてきたが、年々米飯が増えてきたと感じる。国の意向として主食を確保したいということはあると思う。低学年は、ご飯を食べるのが下手。しかし、食べやすいのがいいことかどうかは、別問題だ。高学年に行くと、米を好きな子が増える。主食が好きな子を増やすという意味では、米飯を増やすことはいいと思う。給食は、とても多様な食材を使っている。メニューも多様だ。米飯を週5回にすることは、不適當だと思う。

会長 時間に限りがあるので、そのほか本日の会議終了後に気付いたことがあったら、各自事務局へ連絡してほしい。本日特に言っておきたいことはあるか？

〇〇委員 去年小平市の給食センターに見学に行ったが、多摩市の給食センターには行っていない。今年度視察又は見学の予定はあるか？

学校給食センター長

衛生上調理場内への立ち入りは不可能だが、試食を兼ねて見学は可能。

〇〇委員 個別でいいので、見学させていただきたい。

学校給食センター長

会長と相談して検討させていただく。

(3) 物資取扱要項

学校給食センター長

この要項は、多摩市の食材の選定基準を定めたものである。

事務局

この要項が食材調達の基本となっている。切り方等の納品形態については見積書に記載している。

学校給食センター長

委員には個別に意見をいただいて作成したが、今後も意見を反映しながら充実していきたい。

〇〇委員 豆腐は市内産か？
事務局 豆腐は、稲城市又は八王子市から納品されている。以前は多摩市内からも調達していたが、業者が高齢化のために辞退した。

(4) その他
なし

5 報告

(1) 学校給食の運営のあり方について

学校給食センター長

学校給食の運営の在り方については、昨年当委員会に諮問し慎重にご検討いただいた結果、給食調理業務等一部民間委託化については「実施すべき」との答申をいただいた。業務範囲及び留意点についてもご答申いただいた。それを受けて教育委員会では、審議・協議を重ねている。当初の予定では、5月末までに教育委員会の方針を固めて6月の補正予算に関連経費を要求・計上し、6月議会でご審議いただく予定だった。しかし、4月に市長が交代した中で、新市長にもよく説明しご理解いただかなければいけない。予算の提案権は市長にあるので、現在教育委員会から市長へ文書協議中である。このため6月の補正予算要求は見送った。(その他議会等の経過説明) 今予定しているのは、9月議会に要求する可能性がある。・・・(議会、教育委員会に出された請願・陳情を紹介)

〇〇委員 最初6月補正の予定が9月に変わった。一部民間委託の方針が市長の意向で変わった場合、平成23年9月からという開始時期も変わってくるのか？

学校給食センター長

6月の補正が9月に延びても、平成23年9月からの委託開始には間に合うと考えている。

〇〇委員 今後変わる可能性は？

学校給食センター長

9月補正がさらに延びて12月ということになると、開始時期については再検討しなければいけないし、場合によっては平成24年度からという可能性も出てくる。

会長 最終的には市長の判断ということになるのか？

〇〇委員 教育委員会は独立した行政機関だが、予算の提案権は市長にある中で、十分に連携しなければいけないので、十分説明させていただいている。

会長 請願・陳情については、「教育委員会だより」に掲載していただいているのか？

学校給食センター長
これから掲載する。

〇〇委員 前の市長の民間委託に対する意向は、我々からよく見えていた。しかし、今の市長の意向が見えない。去年1年間あれだけ議論してきて、市長の意向一つでだめになるということはあるのか？

学校給食センター長
市長に対しては、去年の議事録も付けて協議した。市長は着任して日も浅いので、情報を集め、説明を受けて、現場も見た上で慎重に対応したいという意向である。

会長 いろいろな動きがあるが、いま説明を受けたので理解が深まったと思う。今後も随時ご報告いただきたい。

(2) 異物混入について

学校給食センター長
資料6は、4月19日（月）和田中3年3組の味噌汁の食缶に給食センターで使っている食材確認用ビニール製カードが混入した件について、和田中から保護者に対してお知らせしたもので、対策については、カードを大きくした。また、色を分けた。また、調理場内にカードを持ち込まないことにした。

2件目は、5月17日に永山小で発生した、切干大根の煮物にプラスチックのひもが混入したもので、どこで混入したかは特定できなかったが、下処理で発見・除去できる可能性はあったので、今後このようなことのないように注意していく。

〇〇委員 和田中の食缶に混入したカードは、これまでも調理が終わったら回収していたと思う。回収した時に「カードが無い」という認識は無かったのか？

学校給食センター長
見落とししか数え間違えかわからないが、チェックから漏れてしまった。

会長 厳重に対処をお願いした。

次回の予定

8月27日（金）午後3時からに決定した。